

まくせのやしろたちむしじんじや

万九千社立虫神社

社報

かんべさと

神戸の郷



第九八号 令和八年春

〔発行〕二月吉日 代富家（錦田）

立春を迎えてから、暖かくなったり寒くなったりを繰り返す日々が続きましたが、日に日に、春の訪れを感じるようになりました。

神社では、生きとし生けるものの命の力、自然の営みに感謝し、秋の豊かな実りをお祈りする**春のお祭り**をお仕えます。

氏神様にとっては、神立千家にお住まいの全ての方が「氏子」です。私たちを見守ってくださいる神様に思いをはせながら、どうぞお気軽にお参りください。

春の祭典と日時

勧学祭

三月十五日（日）午後一時半

立虫神社 祈年祭

三月十五日（日）午後三時



かんがくさい

勧学祭について

三月十五日（日）午後一時半から、立虫神社にて斎行します。この春、新たに小学校ご入学となる新一年生、そして中学校ご卒業の中学生三年生の皆さんが、氏神様にそろって参拝します。

神様に、入学・卒業の時を無事に迎えたことを奉告・感謝し、これから先の心と体の健やかな成長、勉学の成就、そして明るい未来への一步を踏み出せるよう、お祈りするものです。

このお祭りには、氏子地域のみならず、地域のお子様の成長を見守り、支えていこうと神様に誓う意味も込められています。

※ご参列の方へ

祭典開始10分前までに拝殿へお上がりください。制服、スーツ、入学式の服など神様に失礼の無い服装でお越しください。

玉串料…六千円よりお気持ちでご神前にお納めください。

※平素、神社維持費（氏子負担金）を未納の御家庭のお子様で、皆と一緒に御祈願・参列を希望なさる方は、三月十日（火）夕方までに社務所TEL（72）9412へご連絡ください。

※都合により他の日程を希望される方は社務所までお申し出ください。

立虫神社

きねんちん/ふしむしじまじり

祈年祭について



三月十五日（日）午後三時から立虫神社にて齋行します。今年は試みとして、従来三月二十七日の固定日であった日程を休日日に執り行うことにしました。

宮司以下の神職が厳かに神事に臨みます。ご神前にたくさんのお供え物をして氏神様をおもてなし、宮司が祝詞を奏上します。

祝詞では、本年がよい年であるよう祈ると共に、稲をはじめとした五穀の豊穰、そしてその上に成り立つ商業や工業などの諸産業の繁栄、人々の幸せと平安などを祈ります。

祭典当日は氏子の皆様を代表し、総代さんと神社委員さんにご昇殿していただき、玉串拝礼を行

ってもらいます。

※氏子の神社維持費を納めておられる家庭には、祈年祭の神札、御洗米をお頒ちします。

各自治会の当番の方は、午前七時三十分から午後一時までに、米つなぎの御初穂料をお納めのうえ、授与品をお受けください。

令和の森づくり通信（二月十日時点）

全国の皆様の御寄附により、今年度末までには、現境内の北側及び東側の排水路の付け替えと撤去工事（総工費約一千万円）によって、北側の社有地と境内がつながります！



四月からはいよいよ、森づくりに向けた本格的な土壌改良をはじめます。おって詳しい事業の内容、募財状況については、氏子の皆さまにも文書等でお伝えします。多額の御奉賛に感謝申し上げます。

【編集後記】 暦の上で春になったと浮かれています矢先、宮司から「春号から書いて」と言われ、突然の担当交代となりました、禰宜の寛史です。よろしく願います。

とりあえず過去の社報を参考にしつつ、コピーしつつ、書いてみたところです。これから試行錯誤していくので、ご意見をお寄せいただくとともに、見守っていただければ幸いです。

休みがあるような無いような生活で、休日に何をすれば良いか分からなくなる時もあります。最近、気分転換に外国語に触れています。学生の頃のドイツ語の教科書を引っ張り出してみたり、好きな映画を英語で聞いてみたり。余裕があれば台湾の言語も勉強してみよう、と思ってみたり。なんらかの形で、社頭対応に生かしてみたいものです。（文責 禰宜 錦田寛史）

大寒波 居座る朝の 手水にて
朝日に映える 竜守る玉

